**くすのき学級　生活単元学習指導案**

日時　　平成30年1月31日（水）第5校時

対象　　くすのき学級

指導者・介助員

**１　単元名**　　「思い出いっぱい作ろう お別れ遠足」

**２　単元の目標**

・公共施設や交通機関でのマナーを守って活動し、卒業生と楽しい思い出をつくる。

・お別れ遠足の時の様子を思い出して、発表することができる。

**３　単元の評価規準**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ア  関心・意欲・態度 | イ  思考・判断 | ウ  技能・表現 | エ  知識・理解 |
| 単元の  評価規準 | ・お別れ遠足に興味をもって、意欲的に取り組もうとしている。 | ・調べたい動物を選ぶことができる。  ・友達に質問したり、答えられたりすることができる。 | ・公共施設や交通機関でのマナーを守ることができる。  ・パソコンで動物を調べることができる。  ・ワークシートを記入することができる。 | ・公共施設や交通機関での利用の仕方やマナーを理解している。 |

**４　単元について**

　生活単元学習とは、知的障害特別支援学校学習指導要領に「領域・教科を合わせた指導」として生活単元学習は設定されている。（「領域・教科を合わせた指導」とは、各教科、道徳、特別活動、自立活動を組織的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を実際的・総合的に学習するものである。）

　本単元は、特別支援学校学習指導要領の知的障害者に対する教育を行う特別支援学校における小学部の生活科の内容の「３段階（３）友達とかかわりをもち、きまりを守って仲良く遊ぶ。（７）日常生活に必要な簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動する。（１２）身近な公共施設や公共物などを利用し、その働きを知る。」と国語科の内容の「３段階（１）身近な人の話を聞いて、内容のあらましが分かる。（２）見聞きしたことなどのあらましや自分の気持ちなどを教師や友達と話す。」及び自立活動の内容の「コミュニケーション（２）言語の受容と表出に関すること。（５）状況に応じたコミュニケーションに関すること。」を受けて設定した単元である。

　本単元では、お別れ遠足で上野動物園に行く。児童にとって大変興味関心をもっているところである。お別れ遠足で経験したことを友達に質問したり、それに対して答えたりする活動を行う。

この単元を通して、公共施設を利用するにあたって、必要なマナーやきまり、約束事を守ることの大切さを理解すると共に、コミュニケーションの一つとして、相手の話をよく聞くことや質問にそった答え方ができるように、学習を進めていきたい。

**５　児童の実態**

　（省略）

**６　研究主題との関連**

研究主題

外国語活動におけるコミュニケーション能力の育成

～他教科との関連を図りながら～

めざす児童像

友達と楽しんで活動する子

自分の思いを伝えられる子

（１）活動の工夫

　　　〇楽しんで活動できるように、サイコロを使ったゲームを取り入れる。

　　　〇３つのグループに分かれて活動し、全体での活動に生かせるようにする。

　（２）教具の工夫

　　　　〇ICTを使って、活動の見通しをもつことができるようにする。

　　　　〇写真やワークシートを活用する。

　（３）コミュニケーションを高めるための取り組み

〇朝の会で休みにしたことの発表をする。

〇外国語活動で、ゲームやチャンツを取り入れて、NTや担任、友達と関わることができるよう

　にする。

　　　　〇ソーシャルスキルトレーニングボードゲームを使って、すごろく形式でゲームを行いなが

　　　　　ら、ソーシャルスキルトレーニングについて学ぶ。

　　　　〇お楽しみ会では、異学年で係の活動をする。高学年は、リーダーとして関わっていく。

**７　単元の指導計画と評価計画（６時間扱い）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動 | 指導の手立て | 評価 |
| 第１時 | ・学習の見通しをもつ。  ・お別れ遠足に行く場所や流れを知る。 | ・興味関心がもてるようにする。  ・計画表を見せて、流れがわかるようにする。 | ・お別れ遠足に興味をもって、意欲的に取り組もうとしたか。 |
| 第２時 | ・上野動物園には、どんな動物がいるか知り、調べたい動物を決める。  ・一緒に行動するペアを決める。 | ・どんな動物がいるか写真を見せる。  ・自分たちでペアが組めるように助言する。 | ・調べたい動物を選ぶことができたか。 |
| 第３時 | ・調べた動物を発表する。 | ・パソコンで動物を調べられやすいようにする。 | ・動物を調べることができたか。 |
| 第４時 | ・電車の乗り方について知る。  ・ICカードのチャージの仕方を知り、チャージする。 | ・イメージがもてるように行く駅の写真を用意する。  ・チャージの仕方がわかるように写真を用意する。 | ・電車の乗り方について理解したか。 |
|  | お別れ遠足に行く。 |  | ・公共施設や交通機関でのマナーを守ることができたか。 |
| 第５時 | ・お別れ遠足の振り返りを行い、ワークシートを書く。 | ・行った場所等を思い出せるように写真を用意する。  ・発表につながるようなワークシートを準備する。 | ・ワークシートを書くことができたか。 |
| 第６時  （本時） | ・カード交換ゲームをして、友達に質問したり、答えたりすることができる。 | ・前時に書いたワークシートをもとに話すことができるようにする。 | ・友達に質問したり、答えられたりすることができたか。 |

**８　本時（全６時間中の第６時間目）**

（１）本時の目標

　　　○ルールを守って「カード交換ゲーム」をすることができる。

　　　○友達に質問したり、聞かれたことに答えたりすることができる。

（２）本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 活動 | 教師の支援、指導上の留意点 | ◎評価　●教材 |
| 導入　３分 | １　あいさつ  ２　本時の流れを知る。 | 〇楽しかったお別れ遠足での出来事を想起させ、活動への意欲をもたせる。  〇本時の流れを板書する。  〇児童が見通しをもち、落ち着いて取り組めるようにする。 |  |
| 展開  36  分 | ３　３つのグループに分かれて「サイコロ・トークゲーム」をする。   1. ルールを確認する。   １.サイコロを振る。  ２.質問する。（相手の顔を見る。）  ３.質問された人が答える。  （相手に聞こえる声で）  ※ グループによって教室を移動し、トークゲームを開始する。   1. 質問する人…サイコロを振   　　　　　　って出た番号  　　　　　　の質問をする。  答える人…聞かれた質問に  　　　　　答える。  ※役割カードを首からかけて、自分の番が終わったら次の人に渡す。  ※ゲームを終了し、元の教室に戻  　る。 | 〇役割演技をしてルールを確認させる。  〇サイコロを振る順番が分かるように児童の写真（名前）を掲示する。  〇サイコロは、どの目(質問)が出ても安心して答えられるように、ワークシートの内容と合わせたものにする。  ○出た目の質問を黒板に掲示しておく。  〇役割がはっきりと分かるようにするため役割カードを用意する。  お題  ・どこに行きましたか。  ・何に乗りましたか。  ・調べた動物は何ですか。  ・好きな動物はなんですか。  ・ペアはだれでしたか。  ・一番楽しかった事は何ですか。  〇タイマーの音でゲーム終了を知らせる。 | ●サイコロ  　●役割カード  ●タイマー  (教師)  ◎ルールを守ってゲー  ムに参加することが  できたか。  ◎相手の顔を見て話す  ことができたか。 |
| ４　「カード交換ゲーム」をする。   1. ルールを確認する。 2. 交換ゲームを開始する。 3. 自分のカードがなくなったら自席に戻る。 | 〇ルールを提示し、役割演技をして確認させる。  ①ジャンケンをする。  ②勝った人が先に質問をする。  ③負けた人が答える。  ④交代して質問する。  ⑤カードを交換する。  〇ワークシートを見てもよいこ  　とを伝える。  〇タイマーを使用し、ゲーム終了を意識させる。 | ●ルールを書いた紙  　　　　　(教師)  ●インタビューカード  (児童)  ◎ルールを守ってゲー  ムに参加することが  できたか。  ◎友達に質問したり、聞かれたことに答えたりすることができたか。 |
| まとめ６分 | ５　振り返りカードに記入する。  ６　あいさつ | 〇気持ちを表す顔マークが選べるようにする。 | ●振り返りカード  (教師) |

＜授業観察の視点＞

・友達と楽しんで、ゲームをすることができたか。

・友達に質問したり、聞かれたことに答えたりすることができるために、カード交換ゲームは有効だったか。